

11. 社会貢献活動

本学では、地域との連携を大切にし、さまざまな地域貢献活動に取り組んでいます。

① 学会・協会

諸団体における本学教職員の評価が高まり、学会・協会などの役員のほか、各種委員会や地方公共団体の委員などを引き受けるケースが多くなっています。本学では、このような活動を社会貢献と位置づけ推奨しています。平成 29 年度は、のべ 965 名の教職員が役員・委員等をつとめました。

② サイエンス・スクール

地域の小中高校生を対象とし、「科学の面白さ」「モノづくりの楽しさ」を体験する科学実験授業を毎年開催しています。夏休みに開催している KIT サマー・サイエンス・スクールでは、定員 341 名に対して、839 名の応募があり、リピータも多く、人気のある行事の一つです(図 11-1 参照)。また、近県の高等学校に対し、工学部体験授業も開催しています(図 11-2 参照)。

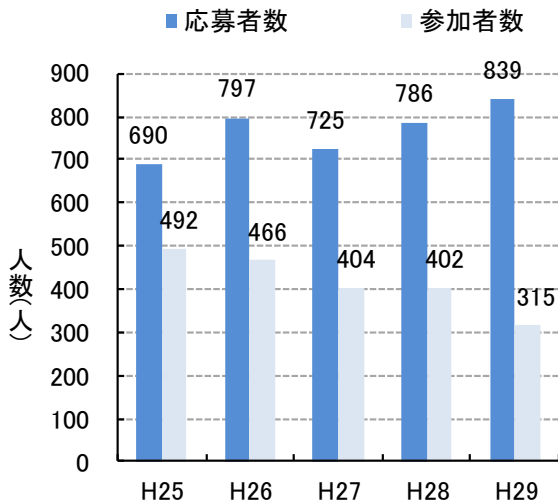


図 11-1 サマー・サイエンス・スクール参加者数の推移

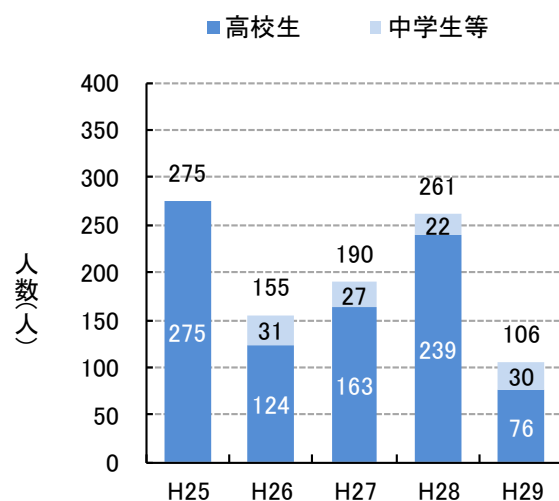


図 11-2 高校生体験授業などの参加者数の推移

③ 献血活動

県赤十字血液センターとの連携のもと、本学では積極的な献血活動を展開しており、県内で唯一、年間の献血者数が 1,000 名を超える大学となっています。平成 29 年度は、1,027 名が献血に協力し、平成 15 年度より 15 年連続で献血者数 1,000 名超えを達成しています。図 11-3 に献血者数の推移を示します。

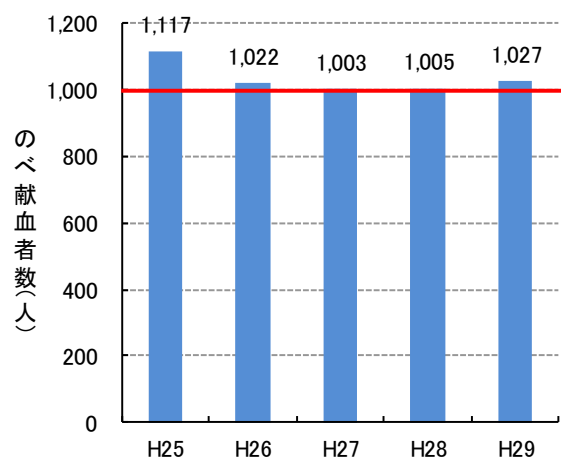


図 11-3 献血者数の推移

④ イーグル・セーフティ・プロジェクト

警察や市などと協力し、防犯パトロール隊「イーグル・セーフティ・プロジェクトチーム」を結成しています。学生たちは、防犯協会員や交番所員らとともに、キャンパス周辺の町会で月 2 回程度のパトロールを行い、近隣の治安維持に貢献しています。図 11-4 に年間参加者数の推移を示します。

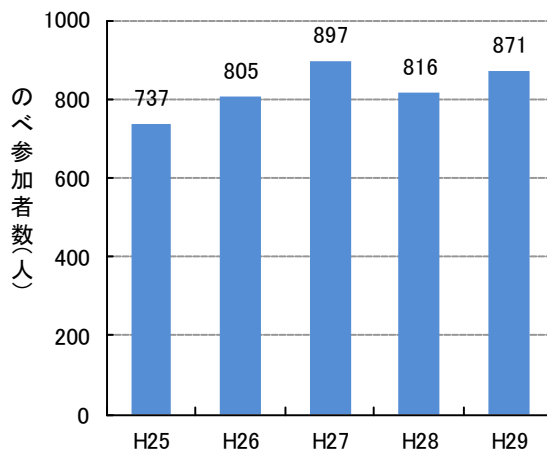


図 11-4 イーグル・セーフティ・プロジェクト
年間参加者数の推移

⑤ りんりんマナーUPキャンペーン

自転車マナーの向上を呼びかけるキャンペーン活動で、学生たちがキャンパス近郊で自転車利用者には、傘差し運転、イヤホン運転などの危険行為をしないよう、手持ち看板、のぼり旗を使用し注意を促しています。

⑥ その他

野々市市内の保育園や老人福祉施設でのボランティア活動やキャンパス近辺沿線3駅の清掃奉仕活動、白山市浜相川海岸での海岸美化清掃、また白山市桑島地区からの要請を受けて、雪だるままつりの運営にも協力しています。

平成 29 年度は、保育園 14 か所、野々市市公共施設 8 か所の清掃などの奉仕活動に 381 名が参加しました。

